

ICT 研究業績 (2017年)

著書

- 1 ① 小林敦子
- ② 「ICU感染制御を極める—Intensive Care Infection Control」
- ③ 第1版
- ④ 南江堂
- ⑤ 東京
- ⑥ 2017
- ⑦ ICUにおいて注意すべき多剤耐性菌感染(MRSA、MDRPなど)について概説

総説

- 1 ① 小林敦子
 - ② 第4章 栄養管理の落とし穴—合併症の予防と対策 ①カテーテル関連血流感染症に対する対応の実際
 - ③ 月間薬事
 - ④ 59(6)
 - ⑤ 2017
 - ⑥ 212-217
 - ⑦ カテーテル関連血流感染症を発症した際の対応を当院の具体例を挙げて解説
-
- 2 ① 小林敦子
 - ② 18 病態から見た人工呼吸とケア Q127市中肺炎、院内肺炎、医療・介護関連肺炎の違いは？
 - ③ ナーシングケア
 - ④ Q&A「人工呼吸とケアQ&A 第3版」
 - ⑤ 2017

- ⑥ 19-22
- ⑦ 市中肺炎と医療・介護関連肺炎の違いをICUナースに判りやすく解説

3 ① 小林敦子

- ② ICUでアミノグリコシドを使用する機会はあるのか？緑膿菌あるいは敗血症ショックではどうなのか？もしも使用する場合、トラフ値とピーク値両方の測定は必要か？ 抗菌薬その常識は正しいか？
- ③ 救急・集中治療
- ④ 29(7・8合併号)
- ⑤ 2017
- ⑥ 520-523
- ⑦ ICUでアミノグリコシド系薬剤を使用する適応とその実際について概説

原著論文

1 ① 小林敦子、森井大一、高橋佳子、藤谷茂樹

- ② 日本集中治療医学会評議員に向けたASPアンケート調査報告
- ③ 日集中医誌
- ④ 24
- ⑤ 2017
- ⑥ 641-649
- ⑦ 日本集中治療医学会評議員に向けたASPアンケート調査報告よりICUにおけるASPの実態を統計学的に解析

2 ① Yasuda H, Sanui M, Abe T, Shime N, Komuro T, Htkeyama J, Kobayashi A et al.

- ② Comparison of the efficacy of three topical antiseptic solutions for the prevention of catheter colonization: a multicenter randomized controlled study
- ③ Critical Care
- ④ 21
- ⑤ 2017

⑥ 320-329

⑦ A multicenter RCT in Japanese ICU showed that both 0.5% and 1.0% alcohol CHG are superior to 10% aqueous PVI for the prevention of intravascular colonization.

3 ① Hase T

② Investigation of toxin genes of *Clostridium difficile* isolated in Kobe

③ 神戸大学大学院修士論文

④ なし

⑤ 2017

⑥ なし

⑦ The first report that ST5 strains of *C. difficile* had mutations in *tcdC* in Japan

症例報告

1 ① 石村さおり、折田環、小林敦子

② Binary toxin産生性 *Clostridioides difficile* による市中型偽膜性大腸炎の1例

③ 臨床微生物学雑誌

④ 27(4)

⑤ 2017

⑥ 313-319

⑦ 抗菌薬投与歴のない外来患者に発症した市中型Binary toxin産生性 *C. difficile* による劇症型偽膜性大腸炎の症例報告

学会発表（特別・教育講演、シンポジウムを含む）

1 ① 小林敦子

② 日本集中治療医学会ASPアンケート調査報告と北摂での取り組み

③ シンポジウム

- ④ 日本集中治療医学会感染管理委員会企画 ICT育成コース
- ⑤ 東京
- ⑥ 2017/10/21
- ⑦ ICT育成に向け、日本集中治療医学会評議員の所属する施設のASPの実態についてアンケート解析結果を報告

- 2
- ① 藤田慎二郎、小林敦子、中川弘大、桑原正篤
 - ② 非虚血性腸管壊死(NOMI)の鑑別が困難であった術後敗血症ショックの1症例
 - ③ ポスター
 - ④ 第20回日本臨床救急医学会総会
 - ⑤ 東京
 - ⑥ 2017/5/28
 - ⑦ ICUで経験したNOMIの症例報告

- 3
- ① 服部剛士、小林敦子、吉岡睦展、今中秀光
 - ② カンジダ属による中心静脈ライン関連血流感染症に合併した真菌性眼内炎を早期発見できた2例
 - ③ 口演
 - ④ 第1回日本集中治療医学会関西支部学会
 - ⑤ 神戸
 - ⑥ 2017/7/8
 - ⑦ 真菌性眼内炎を併発した真菌血症の2症例報告

- 4
- ① 木戸美由紀、吉岡睦展、小林敦子、今中秀光
 - ② Polypharmacyにより薬剤性偽性アルドステロン症を発症したと思われる1症例
 - ③ 口演
 - ④ 第1回日本集中治療医学会関西支部学会
 - ⑤ 神戸
 - ⑥ 2017/7/8
 - ⑦ ICUで経験した偽性アルドステロン症の症例報告

- 5
 - ① 齋藤伸行、小林敦子、志馬伸郎
 - ② MRSA感染症治療の実態調査 PORTRAIT study
 - ③ 第45回日本救急医学会総会
 - ④ 口演
 - ⑤ 大阪
 - ⑥ 2017/10/26
 - ⑦ MRSA感染症に対する診療の実態調査 多施設研究

- 6
 - ① 吉岡睦展、清水義文、石村さおり、石津智司、杉生雅和、若松雄太、折田 環、小林敦子
 - ② バーキットリンパ腫に併発した深在性トリコスポロン症の一例
 - ③ 口演
 - ④ 第4回日本医真菌学会 関西支部「深在性真菌症研究会」
 - ⑤ 神戸
 - ⑥ 2017/3/4
 - ⑦ ガイドライン通りの推奨抗真菌薬を投与しても、トリコスポロン症と同定されるまで1週間以上を要し、適切な抗真菌薬投与が遅れる

- 7
 - ① 吉岡睦展、小林敦子
 - ② カンジダ血症における眼病変実態調査
 - ③ 口演・パネルディスカッション
 - ④ 第20回阪神ICT活動研究会
 - ⑤ 西宮
 - ⑥ 2017/7/11
 - ⑦ 阪神地区8施設のカンジダ血症例における真菌性眼病変は16.5%であり、血培採取日から眼病変例診断までの日数は6.1日であった

- 8
 - ① 若松雄太、吉岡睦展、長尾彰太、杉生雅和、石津智司、小林敦子、辻 隆志
 - ② Polypharmacyにより血糖管理・手術部位感染症に難渋した一例
 - ③ ポスター
 - ④ 第27回日本医療薬学会年会
 - ⑤ 千葉

- ⑥ 2017/11/3-5
 - ⑦ 多剤併用が血糖管理を難渋させ、SSIの治癒を遅延させた症例を報告
- 9
- ① 西山祐美、吉岡睦展、中川史絵、杉生雅和、小林敦子、辻 隆志
 - ② Polypharmacyにより薬剤性偽性アルドステロン症を発症した一症例
 - ③ ポスター
 - ④ 第27回日本医療薬学会年会
 - ⑤ 千葉
 - ⑥ 2017/11/3-5
 - ⑦ Polypharmacy状態で前医で処方された長期服用中の薬剤が原因と疑われた偽性アルドステロン症を報告
- 10
- ① 春藤和代、小林敦子、藤田直久
 - ② 当院で発生したCD腸炎によるアウトブレイクの経験と今後の課題」
 - ③ 口演
 - ④ 日本環境感染学会総会 学会
 - ⑤ 神戸
 - ⑥ 2017/2/24
 - ⑦ CDI菌株の遺伝子解析結果からアウトブレイクを後方視的に分析

その他(新聞・TVなど)

- 1
- ① 小林敦子
 - ② 宝塚市立病院における多剤耐性菌抑止の試み
 - ③ 第4回宝塚市域感染研修会講師
 - ④ 2017/1/12
- 2
- ① 小林敦子
 - ② 特別講演座長

③ 第19回阪神ICT研修会

④ 2017/1/17

3 ① 小林敦子

② 冬に負けない！風邪・インフルエンザ対策

③ 健康づくり・介護予防講座(一般市民向け)講師

④ 2017/10/18

4 ① 春藤和代

② 感染症対策の基本

③ 社会福祉協議会

④ 2017/6/24

5 ① 春藤和代

② 感染症対策の基本から具体策まで

③ 宝塚まどか園

④ 2017/7/24

6 ① 春藤和代

② ときめく環境ラウンドを目指して

③ 阪神北圏域医療関係者

④ 2017/8/4

7 ① 春藤和代

② 感染症対策

③ 宝塚医療大学

④ 2017/8/18、9/21

8 ① 春藤和代

- ② 感染対策の基本と施設ラウンド結果
- ③ 高齢者介護施設 あいわ苑
- ④ 2017/10/18

- 9
- ① 春藤和代
 - ② 感染対策の基本と施設ラウンド結果
 - ③ 高齢者介護施設 中山ちどり
 - ④ 2017/10/24

- 10
- ① 春藤和代
 - ② 感染症対策
 - ③ 大隈病院
 - ④ 2017/11/18

- 11
- ① 春藤和代
 - ② 感染対策の基本と環境消毒
 - ③ 宝塚市域保育施設職員
 - ④ 2017/11/21

- 12
- ① 春藤和代
 - ② 感染予防
 - ③ 宝塚市立看護専門学校
 - ④ 2017/12/6、12/11、12/22